

楽しんで儲かる 農業みつけた

玄米アミノ酸微生物農法の役立つ情報満載！

発行
静岡農業技術支援協同組合

農業小話

気候変動は今年も
激しくなりそうです！

深刻な土壤汚染

異常気象で土壤汚染する
スピードが猛烈に早くなる！

玄米アミノ酸で 高収量にする方法

春じゃが芋で収量を取る！
甘味抜群にできる！

Q&A

サビ病が出た時の
対策を教えてください！



気候変動は今年も激しくなりそうです！

何が気になると言っても「気候」ですよ。今年の天気はどうなるのかです。ここ2年ぐらい気候変動の幅が、想像以上に大きくなっています。そこから考えると、さらに気候変動は激しくなると予想しておいた方が良いでしょう。春は早くなり、夏の気温上昇も6月には高温になる。雨も多くなったり、逆に乾燥も激しくなるということですね。

栽培する作物の選択も重要になります。それよりも病虫害の発生量です。これは肥料供給が多いほど出やすくなります。作土層も浅いと水害の影響を受けやすくなります。栽培方法の見直しは必須条件になります。雨が降るといっても酸性雨の傾向にあります。雨が降るだけで作物の育ち方は悪くなるということです。桜の咲く時期も早くなることでしょう。桜が咲くという事は、気温が15度を超えるという事です。作物は育っていく気温になります。早めに作業を始めなくてはなりません。

光合成も活発になっていくという事ですね。これに合わせて乳酸菌もみがらしを作るとか、葉面散布するとか、定植の時期を考えるということになります。作業の段取りまで違ってきます。スタートが違うことによって、ゴールはまったく違うものになっていきます。誰でも結果は欲しいですよ。良い結果を得たいとしたら、重要なのはスタートを切る時期です。何を準備するのも大切です。



異常気象で土壤汚染するスピードが猛烈に早くなる！

土壤のトラブルは年を追う毎に深刻になっていくでしょう。それには根拠がある。化学肥料や農薬を使わない戦前は、土壤改良する習慣があった。レンゲ草などの緑肥はどこも使っていた。そしてスキによる深耕もやっていた。土壤を良くして、収量を多くするという考え方が主流だったのである。



しかし、戦後70年も過ぎるとそんな事をやっている農家はまったく見なくなった。化学肥料にマルチ、そして農薬と土壤消毒である。これを継続したら、土はパサパサに砂漠みたいな土になってしまうのである。それを元に戻すという考え、そのものがない。**農地は使い捨て**に近い考えになってしまったのである。だから「増産」というのは、現実としては存在しないのである。

お米だって10アール当りの収量にはほとんど変化はない。作付けが増えれば、生産量も増えることにはなる。

しかし一方で、**サツマイモのように病害が多発すると生産量の増加にはならない**。品種改良という方法もある。味は良くなるが収量を上げることは実現していない。

さらに言えば病害と虫害、どちらが土壤改良しやすいだろうか。**病害の方がしやすい。虫害の方が難しい**。病害の倍の期間はかかる。**それで土壤改良の技術がない場合には耕作放棄になる**。耕作放棄がどれくらいで戻るのか。**早くて4~5年**。遅ければ7~8年と予測される。しかも、また前と同じ方法でやれば2~3年で作付けできなくなってしまうのである。こういう農地がどれくらいあるのか。誰も分からない。調査なんてやるわけもないのである。いきなり土壤改良の話ができないところに、問題の深刻さがある。

これに異常気象が加わる。土壤の痛みが加速されるのである。改良する前から悪くなるスピードが早いと言った方が分かりやすい。農業の平均年齢は68.4歳である。早ければ5年以内、遅くとも**10年以内にはパニックが発生することになる**のであろう。



春じゃが芋で収量を取る！甘味抜群にできる！



春じゃが芋を作る人は多い。そうか病というカビ病が多い。じゃが芋は種芋を買うことから始まる。品種はいろいろある。メイクインとかキタアカリとかである。

そうか病の対策として切り口に灰をつけると良いなどと言われている。

これは切り口をアルカリにするという事である。もっと効果的なのは天然ミネラル鉱石がおすすめ！これを切り口につけて定植するのである。病虫害予防になる。

次に種芋の定植である。この定植する時に植え穴に新芽グングンを使うのである。新芽の出が良くなるだけではない。徒長も予防できる。病害の予防にもなる。

定植する時は浅植えはとても大切である。切り口が少し土に隠れる程度がおすすめである。2~3cm、深くても5cmくらい切り口の断面がたてに立つように植える。浅植えというのは、芋を土の中に植えて土を上から少しかぶせる程度なのである。深く植えると芽出しが遅くなる。芋を定植してしまうと、何もしないのが普通である。それでは芽出しが遅くなるのである。水は与えなくてははいけない。気温の高い日中に、土が湿る程度に水分を与えるのである。週に2回ぐらいで良い。玄米アミノ酸酵素液500倍希釈で散布する。



それから芽が出る。生長点が伸びる。側枝が出てくる頃に追肥である。乳酸菌もみがらぼかしを10アール100kgぐらいの追肥で良い。株まわりにやるだけで十分である。土寄せもして下さい。側枝が出てきて株が生長する。花芽が出てくる。この時が勝負である。玄米アミノ酸酵素液の散布である。2日に1回500倍希釈で10アール1tぐらいである。ここで芋大きさと収量が決定する。

このチャンスを逃して芋を大きく数を多くすることはできない。花が咲いて落下する。この頃になると株は大きくなっている。最後に葉面散布の光合成で追いかける。10アール500倍希釈で500ℓ程度である。収量も品質も抜群なものができる。



玄米アミノ酸微生物農法に寄せられたご質問を紹介します



お陰様で乳酸菌もみ殻ぼかしを作り微生物農法にて完全無農薬で美味しい野菜を作ることができています。今、ニンニクを育てています。

先月よりサビ病にかかって枯れたようになってしまいました。サビ病になった時にどのような対応をしたらよいのか教えてください。

私がおこなった事は
葉面に玄米アミノ酸500倍希釈したものを週一回散布と重曹を薄めたものを一度散布しました。
進行は止められず、近くに植えてあるネギやニラに移り始めたので、本日、ニンニクを収穫しました。

土壤にサビ病の病原菌が残っていると思われます。今後、同じ場所に作物を植える時にした方がよいことを教えてもらえると助かります。

神奈川県 Y様





サビ病が出た場合はまず、深く耕して排水を良くして下さい。その次に乳酸菌もみがらぼかしにみどりの放線菌を2~3%混ぜてすき込みして下さい。

これを2回ぐらいくり返して下さい。
次にキュウリなどを植えてみてべト病やうどん粉が出なかったらサビ病も出にくくなったという証拠です。



玄米アミノ酸微生物農法 お問合せはLINE・メール・FAXでお寄せください！

MAIL  info@shizuoka-agrisupport.org <24時間受付中>

FAX  0120-870-442 <24時間受付中>



玄米アミノ酸微生物農法
オンラインサイト



<https://aminofarming.com>

ネット注文が便利です♪

玄米アミノ酸微生物農法

玄米アミノ酸微生物農法
LINE公式アカウント



お友だち追加はこちら



毎月1日・毎週金曜日にお得な情報を
発信しております！
お友だちだけの特別なキャンペーンも定期的
に実施中！



静岡農業技術支援協同組合

〒422-8034
静岡県静岡市駿河区高松2-15-26